

目 標	<p>・相手の目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気をつけて書くことができるとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。</p> <p>・相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように段落相互の関係などを工夫して文章をかくことができるようにする。</p> <p>・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができる。</p> <p>・幅広く読書しようとする態度を育てる。</p>	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前 期	<p>1 様子や気持ちが伝わるように音読しよう／すいせんのラッパ ・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読する。</p> <p>本にしたしもう ・読んだ本の情報を記録したり、感想を書いたりする。</p> <p>自分をしようかいしよう ・いろいろな観点で自分のことを振り返り、書くための材料を集め</p> <p>国語じてんの使い方を知ろう ・国語辞典の仕組みや使い方を理解する。</p> <p>2 だん落に気をつけて読もう／自然のかくし絵 ・段落ごとに内容をとらえながら読み取る。</p> <p>えらんだ理由を話そう ・自分の考えとその理由を明確にして、相手に分かりやすいように整理して話す。</p> <p>かんさつしたことを書こう ・観察して気づいたことを、事柄ごとに整理して書く。</p> <p>形のかわる言葉に気をつけよう／漢字の練習 ・言葉の類別について知り、動詞や形容詞、形容動詞の活用について理解する。</p> <p>3 物語のあらすじをとらえよう／ゆうすげ村の小さな旅館 ・場面の移り変わりに気をつけて読み、あらすじをまとめる。</p> <p>話を聞いてメモをとろう ・話の大切なことを聞き取って、メモを取る。</p> <p>漢字の組み立てと意味を考えよう／漢字の練習 ・共通する部分を持つ漢字が、意味のうえで共通性を持つことを理解する。</p> <p>4 書く人のくふうを考えよう／「ほげんだより」を読みくらべよう ・事柄の取り上げ方や、説明の仕方の違いを読み取る。</p> <p>心にのこったことを書こう ・伝えたいことの中心を考え、そのために必要な書く材料を選んで書く。</p> <p>慣用句を使ってみよう／漢字の練習 ・慣用句について知り、慣用句を使った短文を書く。</p> <p>本は友だち ・読書への関心を高め、多様な本を読む。</p> <p>詩を読もう／紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる ・場面の様子や人物の気持ちを思い浮かべながら、詩を声に出して読む。</p> <p>話したいな、夏休みの出来事 ・順序よく筋道を立てて話す。 ・自分の体験と比べながら聞く。</p>	<p>案内の手紙を書こう ・案内するときにだいたいなことを落とさないように手紙を書く。</p> <p>ローマ字／漢字の練習 ・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書く</p> <p>1 人物の気持ちを考えながら読もう／サーカスのライオン ・物語の中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読む。</p> <p>お話を作ろう ・地図を手がかりに想像を広げ、場面を整理してお話を書く。</p> <p>「こそあど言葉」を使い分けよう／漢字の練習 ・指示語の働きや種類について理解する。</p> <p>2 はたらく犬について調べよう／もうどう犬の訓練 ・だいたいな言葉や文を見つけながら読み取る。 ・書かれている内容を短くまとめながら読み取る。</p> <p>こちら、「子ども相談室」／漢字の練習 ・自分の考えと理由を分かりやすく話す。 ・相手の伝えたいことを考えながら聞く。</p> <p>3 調べたことを整理して書こう／研究レポートを書こう ・知りたいことについて調べ、調べたことを整理して文章に書く。</p> <p>様子をくわしく表そう／漢字の練習 ・修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をする。</p> <p>4 世界の民話を読もう／木かげにごりり ・世界の民話を読んで、民話のおもしろさを味わう。</p> <p>俳句に親しもう ・俳句を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。</p> <p>くらべて分かったことを書こう ・同じところと違うところを整理して文章を書く。</p> <p>5 調べたことを整理して発表しよう／わたしたちの町の行事をしようかいしよう ・身近な行事について調べて、分かりやすく説明する。 ・自分が調べたことと比べながら発表を聞く。</p> <p>漢字の表す意味を考えよう／漢字の練習 ・漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて整理する。</p> <p>6 世界の家のつくりについて考えよう／人をつつむ形—世界の家めぐり ・文章や絵から読み取ったことをもとに考える。</p> <p>「わたしの作品集」を作ろう／漢字の練習 ・これまでに書いた文章を読み合い、一年間を振り返る。</p>

国語科の評価

・国語科では五つの観点で評価します。

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。	相手や目的に応じ調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。	相手や目的に応じ調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。	目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉の違いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。

・次のような方法で見てください。

発表内容 ノート 音読 テスト 発表会 作文 大会の様子 音読の観察 取材態度 メモの内容 台本

おうちの方へ

学習の定着を図るため、漢字ドリルや学習プリントなどを活用します。家庭学習にも取り入れます。音読は学習の基本であり、より多くの人からの肯定的評価が意欲の継続につながります。ご家庭でのご協力をお願いします。